



デントコーンコントラ収穫

絹手亡生産ほ場を表敬訪問



松田泰一さん(合流)の絹手亡ほ場にて記念撮影

8月30日、大阪の名菓「月化粧」の製造・販売を行なっている株式会社青木松風庵の青木啓一代表取締役会長と青木一郎代表取締役社長が「月化粧」のCMに出演している吉本興業株式会社所属のマルチタレント大平サブロー氏と原材料である絹手亡の生産ほ場を表敬訪問されました。

この日は、ほ場での意見交換やお菓子では初の機能性表示食品である新商品「金の月化粧」を絹手亡生産者6名と試食し、ドローンを使用した動画撮影や記念撮影を行いました。



ほ場視察の様子

生産者の石原正将さん(栄穂)は「直接ほ場まで足を運んでいただき、評価してもらえてとても嬉しかった。良いものを収穫できるように気を抜かず頑張りたい」と話していました。

示食品である新商品「金の月化粧」を絹手亡生産者6名と試食し、ドローンを使用した動画撮影や記念撮影を行いました。

デントコーンのコントラ収穫開始

9月4日、営農サポート課によるデントコーンのコントラ収穫を開始しました。

今年は、干ばつの影響により登熟が早く、昨年よりも6日早いスタートとなりました。

コントラ収穫面積は、昨年より約8ha少ない379・8haを予定しており、天候に左右されますが10月初旬に終了する見込みとなっています。



上浦幌地区のコントラ収穫の様子



本所地区のコントラ収穫の様子

収穫作業本格化



金時類の収穫の様子（相川）



澁原馬鈴しょ搬入の様子（東工連）

収穫の秋を迎え、各作物の収穫作業が本格的に始まりました。

澁原馬鈴しょは、高温干ばつの影響もあり例年よりも早く収穫がスタートし、東工連も9月3日より受入業務が開始されました。9月末時点での平均ライマン価は18・78%で、進捗率36・4%となっており、11月上旬まで搬入作業が行なわれる予定です。

豆類の収穫作業は、昨年より7日早い、8月23日より上浦幌支所での受入が開始されています。馬鈴しょ同様に例年より早く収穫が進んでいる豆類は、9月末日時点で金時類、手亡類の収穫が約90%終了し、小豆がこれから最盛期を迎えます。

今後は大豆と白花豆の収穫が始まります。

第48回ふるさとのみのり祭り

9月24日、うらほろ森林公園（町内東山）で第48回ふるさとのみのり祭り（主催・浦幌町観光協会）が開催されました。

今回のみのり祭りでは昨年実施されなかった、「みのりまき」（餅まき）や秋あじのつかみ取りなどのイベントも開催され、過去最多に並ぶ3万6千人（主催者発表）の来場者は4年振りの通常開催を楽しんでいました。

当JAのブースでは、キタアカリや男爵薯などの馬鈴薯をはじめ、玉ねぎ、大根の野菜類や白花豆の Pasta ソースや白花豆甘納豆などの加工品を販売しました。

また、浦幌町和牛改良組合（高田哲雄組合長）ではうらほろ和牛肉を販売し、終始賑わっていました。



「みのりまき」を行なう林組合長



JAブースの様子

秋播き小麦の播種作業がスタート



上浦幌地区の播種作業の様子

秋播き小麦の播種作業が町内全体でスタートしました。
 今年は、秋播き小麦の前作となる馬鈴しょや豆類が例年よりも早く成熟期を迎えたため、十勝農業改良普及センター十勝東部支所の指導のとおり、播種適期とされる9月20日前後のスタートとなっています。



本所地区の播種作業の様子

この時期は、天候が不安定で思うように作業が進まない状況が多いことから、ほ場条件等により多少前倒しするなど、生産者それぞれで播種時期が選定されています。
 今後は各生育ステージでの肥培管理を経て、来夏に収穫を迎えます。

第18回北海道総合畜産共進会

9月1日・2日、十勝農協連家畜共進会場（音更町）で第18回北海道総合畜産共進会（肉用牛・馬、主催・第18回北海道総合畜産共進会実行委員会）が開催されました。

浦幌町からは、肉用牛部門で高田哲雄さん（宝生）所有の「かなひめ」号と「まみ」号が第1部黒毛和種・未経産（生後11か月以上14か月未満）、（株）ハンドインハンド（貴老路）所有の「まさみ」号が第8部黒毛和種・父系群（生後11か月以上同一父牛3頭一群）に出場しました。また、種馬の部では松村竜幸さん（美園）所有のプリンセスホクエイ号が第5部重種馬（3才以上雌子付）に出場しました。
 なお、審査結果は下記の通りとなっております。



1等賞1席を受賞した（株）ハンドインハンドの「まさみ」号（中央）



1等賞2席を受賞した高田哲雄さんの「かなひめ」号

出品家畜区分	名	成績
第1部黒毛和種・未経産 （生後11か月以上14か月未満）	「かなひめ」号	1等賞2席
	「まみ」号	2等賞2席
第8部黒毛和種・父系群（生後11か月以上同一父牛3頭一群）	「まさみ」号	1等賞1席
第5部重種馬3才以上雌（子付）	プリンセスホクエイ号	3等賞（序列なし）

営業時間が変わります

(11月1日～3月31日)

部 門		平 日	土 曜 日
総務	一般業務 (管理課・企画振興課・上支所管理課)	9:00～17:00	休 業
信用・共済	一般業務 (融資課・貯金課・上支所管理課・共済課)	9:00～17:00	閉 店
	貯金・組勤窓口業務 (融資課・貯金課・上支所管理課)	9:00～15:00	
	A T M (本所・上支所)	9:00～17:00	
購	整備工場窓口・資材店舗(本所・上支所) ・上支所修理センター窓口	9:00～16:30	休 業
	一般業務 (車両整備係・上支所修理センター)	9:00～17:00	休 業
	一般業務 (生産資材課・上支所購買課)	9:00～17:00	休 業
買	ス タ ン ド	本 所	平日営業 (日曜祝祭日も平日営業)
		上 支 所	9:00～12:00
営 農	一般業務 (農産課・畜産課・上支所農産課)	9:00～17:00	休 業
	施設業務 (農産課・上支所農産課)		
	機械施設業務 (営農サポート課)	9:00～17:00	休 業

※詳細につきましては、各課へお問い合わせ願います。



第7回理事会



9月27日、役員室において理事会を開催し、議案4件について審議され、原案通り承認されました。

○議案

- ・当組合におけるリスク評価書について
- ・共同計算の最終精算について
- 令和4年産 玉ねぎ
- ・固定資産の取得について
- 西町事務所 屋根改修工事
- コンバインの事前発注について クラース LEXION 5400
AMD
- ・令和5年8月農事組合懇談会の意見・要望に対する回答について

○報告事項

△総務部▽

- ・ALM総体的なリスク管理について
- ・令和5年度鳥獣被害防止総合対策事業入札結果について
- ・令和5年度浦幌町小規模暗渠排水事業 第2工区見積り
合わせ結果及び設計変更について
- ・令和5年度浦幌町小規模暗渠排水事業 第3工区見積り
合わせ結果について

△信用部▽

- ・理事に対する資金の貸付に係る報告について

△営農販売部▽

- ・農産動向について
- ・生乳生産動向について

△その他▽

- ・内部監査報告について

みんなチェック！ 最低賃金。

北海道最低賃金

北海道内の事業場で働くすべての労働者（会社員、パート、アルバイトの方、学生さんなど働くすべての人）及びその使用者に適用される北海道最低賃金が次のとおり改定されました。

最低賃金額 時間額 **960** 円

効力発生年月日 令和5年10月1日

- 最低賃金には、**精皆勤手当、通勤手当、家族手当、臨時に支払われる賃金及び時間外等割増賃金**は算入されません。
- 最低賃金額以上の賃金を支払わない場合は、最低賃金法違反として処罰されることがあります。
- 特定の産業（「処理牛乳・乳飲料、乳製品、糖類製造業」、「鉄鋼業」、「電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業」、「船舶製造・修理業、船体ブロック製造業」）で働く方には北海道の特定（産業別）最低賃金が適用されます。

厚生労働省 北海道労働局 労働基準監督署（支署）

十勝川の治水事業が 百年を迎えました

十勝川流域では明治時代から入植者による開拓が始まっていますが、当時の十勝川は曲がりくねっていて洪水被害を受けやすい地形でした。

そこで、開拓の中心地域である茂岩から西帯広までの延長56kmにも及ぶ区間に堤防、新水路掘削、護岸工事を実施するための計画が立てられました。大正12年、十勝川治水事務所が開設（現在の帯広市大通南1丁目）され、本格的な治水事業が開始されました。



十勝川治水事務所（昭和2年頃）



フンベ山からみた利別の三日月湖
三日月湖は十勝川蛇行の名残で現在は農地
(大正から昭和初期、帯広百年記念館所蔵)



十勝川を往来した川舟（五十石船）

開拓の大動脈 十勝川が運んだ人と物

明治期、十勝川沿いの地域は人と物の行き来が盛んでした。土地の豊かさでは十勝川沿岸が第一、利別川沿岸が第二とされ、多くの入植者たちが豊かな土地を求めて集まりました。

河口の大津は内陸へ向かう川舟の起点であり、十勝川をさかのぼっていくと、茂岩や武山、利別太などの船着場がありました。船着場には倉庫や商店が立ち並び市街地を形成。川を渡るための渡船場も整備されていきました。

一方で川沿いの入植者は水害に苦しめられました。十勝川を遡上して利別太フンベ山麓に入植した武山土平は水害に遭い武山に移住。その後地域の有力者になり、明治31年大洪水の被災者のために所有地を無償提供しました。その地は「武山市街」と呼ばれ、鉄道開通により止若に市街地が移るまで繁栄しました。

あのときの
おもいで

もぐり橋の思い出と 渡船がつないだ地域の記憶

池田の水害でもっとも影響を受けたのは利別から川合の人たち。私が知るかぎり明治26年頃から入植されています。川のそばで作れるものといったらアワやヒエで、植えても毎年のような洪水のため、土や労働力の馬が流されてしまう。馬が食べるエン麦やコメ作りを熱望して少しでも高い豊田や青山へ土地を求めた人も。氾濫の名残が三日月や大曲など古い地名に残っています。今でこそ大規模経営が増えましたが、初代は神や仏もないものかという思いを持ちながらも、その地で頑張っていました。

もぐり橋は4、5歳の頃、車で渡っていて恐ろしかった記憶が。荷馬車の馬がおびえて立往生することもあったと地域の人から聞きました。

明治から大正にかけて池田の中心は利別でした。利別太の渡船場が池田発祥の地。利別や川合、特に千代田の人は渡船を通じて池田ではなく止若（幕別）で鍋や釜などの生活用品を買い求めていた。幕別の時計屋さんは今も利別に商いに来ています。千代田は幕別のお寺の檀家が多いそうです。鉄道開通で利別駅、池田駅に市街地が移った後も、そうした人と物の交流は現在も続いています。



池田神社 宮司
岩崎寿澄さん（62）

十勝川治水100年
記念事業特設サイト



【もぐり橋】昭和31年川合新水路（利別川）工事にともない川合東36号線に架設された川合橋の通称。現在の川合大橋の約30m下流に位置。全国的にも珍しい増水時に冠水する橋で、朝ドラ主題歌で歌われるなど地域からも愛された。

100
十勝川治水
100年

十勝川治水百年
特集

（幕別・十勝池田・豊頃・浦幌編）

新パズル(10月)

ジ	ス	ミ	コ	カ	イ	ノ	ミ	バ
プ	レ	ノ	シ	ズ	リ	マ	ラ	サ
ツ	キ	ラ	キ	ン	ン	シ	ン	シ
プ	ア	セ	ザ	コ	イ	カ	プ	セ
ギ	ト	リ	コ	ブ	ク	ロ	ー	ス
ツ	ウ	レ	プ	カ	ト	ウ	ー	ノ
ラ	ガ	イ	チ	ボ	ル	ン	バ	サ
ミ	ラ	ハ	ヤ	チ	シ	ビ	レ	ド
ス	シ	ジ	ン	ヤ	チ	ツ	テ	ヒ

アキレス、イチボ、ウルチ、カイノミ、カルビ、カシラ、ギアラ、コブクロ、コブチャン、サーロイン、ザブトン、サンカク、シビレ、セキズイ、センマイ、チレ、ツラミ、テッチャン、シンシン、トウガラシ、バラ、ハラミ、ヒレ、プップギ、ミスジ、ミノ、ランプ、レバー、コース

□解き方

松坂牛や神戸牛、そしてうらほろ和牛など全国には様々なブランド牛がたくさん存在します。

今回は牛肉の部位を並べてみました。最後まで使わなかった文字を左上から並べてできる部位名2つをお答えください。

□発表表

正解は本紙11月号に掲載します

※ご意見ご要望等ございましたら、企画振興課教育情報係までお問合せ下さい。
(TEL: 578-7068)

コ	マ	ツ	ケ	ン	ジ	ー	サ	リ
オ	ノ	リ	コ	ウ	ン	ベ	イ	ド
ビ	ア	ロ	オ	コ	ン	ゴ	ン	ガ
チ	ラ	ム	ー	グ	グ	イ	ダ	ザ
ド	ム	ユ	ー	フ	ラ	テ	ス	ウ
ニ	ヤ	リ	ダ	ル	シ	ン	コ	マ
エ	リ	ウ	タ	ド	ナ	ウ	テ	レ
プ	ラ	ツ	ト	ス	ヨ	イ	ナ	ー
ル	チ	ー	ヤ	チ	ラ	ク	ル	ミ

9月号の答えは
ANSWER
コウガ、チグリス
(黄河、チグリス川)でした

農業用廃プラスチック分別回収ご協力のお願い

農業用廃プラスチックの正しい分別回収にご協力をお願い致します！

【分別方法】

○農ビ (ポリ塩化ビニール) **農ビ**

見分け方: ・「農ビ」マークがある
・切り口が透明で波が少ない
・柔らかくて伸びるもの

製品例: ハウス・トンネル用ビニール

○農ポリ (ポリエチレンフィルム、ポリプロピレンフィルム等) **農PO** **ノーポリ**

見分け方: ・「農PO」、「ノーポリ」マークがある
・切り口が波を打ち、白化
・やや固くゴアゴアしている。

製品例: ブルーシート、肥料袋、育苗トレイ、ポット、牧草用ラップ、マルチ

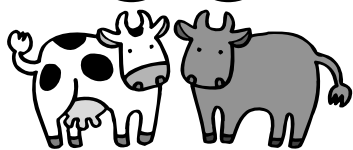
※金属、石、泥、木片などの異物はしっかり除去をお願いします。

※不法投棄は法律で禁止されています。5年以下の懲役か1千万円以下の罰金またはこの両方が科せられます。

農業用廃プラスチック回収はフレコンバックにまとめていただきますようお願い致します。

ちくさん

情報



詳しくは
宮農販売部
畜産課まで
お問い合わせ
下さい
☎576-4115

◎ホクレン十勝家畜市場

・育成市場 (9月14日) (単位:円)

	頭数	最高価格	最低価格	浦幌平均価格	十勝平均価格
育成牛	9	262,900	64,900	169,889	180,865

・乳牛市場 (9月11日) (単位:円)

	頭数	最高価格	最低価格	浦幌平均価格	十勝平均価格
初妊牛(ET)	29	562,100	286,000	407,114	415,516
初妊牛(ET)	2	564,300	506,000	535,150	630,056
経産牛	3	376,200	295,900	327,800	295,292

・乳牛市場 (9月26日) (単位:円)

	頭数	最高価格	最低価格	浦幌平均価格	十勝平均価格
初妊牛(ET)	2	347,600	330,000	338,800	401,431
初妊牛(ET)	0	0	0	0	564,205
経産牛	1	270,600	270,600	270,600	327,453

次回市場	育成牛	10月12日 (農協順:16)
	乳牛	10月10日 (農協順:5)
	乳牛	10月24日 (農協順:2)
11月市場	育成牛	11月16日 (農協順:10)
	乳牛	11月13日 (農協順:18)
	乳牛	11月28日 (農協順:8)

・肉牛市場 (9月5日-21日) (単位:円)

	頭数	最高価格	最低価格	浦幌平均価格	十勝平均価格
和牛素牛(去勢)	88	897,600	313,500	568,425	617,396
和牛素牛(雌)	43	683,100	280,500	460,619	483,413
繁殖雌牛	0	0	0	0	438,309
廃用牛	8	444,400	127,600	239,938	276,356

次回市場	10月4日・17日	(農協順 黒毛:8・交雑牛:2)
11月市場	11月7日・21日	(農協順 黒毛:2・交雑牛:6)

◎ホクレン十勝枝肉市場 (9月市場平均) (単位:kg/円)

	A-5	A-4	A-3	A-2	平均単価
和牛	2,222	1,839	1,513	1,450	2,075
交雑牛	AB-5	AB-4	AB-3	AB-2	平均単価
			1,050		1,050

次回市場	10月14日、10月21日
11月市場	11月4日、11月18日、11月25日

◎初生犢の集荷は、十勝中央家畜市場対応となり、下記の日程で集荷致します。

◎十勝中央家畜市場

10月開催日	3日・6日・10日・13日・17日・20日・24日・27日・31日
11月開催日	2日・7日・10日・14日・17日・21日・24日・28日

◎畜産公社出荷日 10月都度協議

◎畜産物の販売希望者は、早めに畜産課へご連絡下さい。集荷には特段のご協力をお願い致します。尚、初乳は充分与えて下さい。

◎きれいに搾って素早く冷却

◎めざせランク1 = 体細胞数30万以下、生菌数1万以下

へクリプトスポリジウム症と対策方法

クリプトスポリジウム症とは、消化器官に寄生するクリプトスポリジウム原虫によって引き起こされる感染性下痢症の一つです。ハッチや牛床に付着した原虫を子牛が口から摂取することで感染し、早い場合は生後数日から発症します。発症すると黄色の水様性下痢を生じ、脱水症状が重篤な場合は死亡することもあります。発症した子牛の糞便中には、多数のクリプトスポリジウム原虫が含まれていて、原虫の大きさは直径約5μmと非常に小さく、肉眼で原虫を見つ

けることは不可能です。現在、クリプトスポリジウム症に有効なワクチンや治療薬は市販されておられません。子牛の脱水症状を改善して、衰弱を防ぐことが基本です。クリプトスポリジウム原虫に汚染されたエリアを絞り込み、ハッチや牛床などを念入りの洗浄し、物理的に排除を行っていきましょう。消毒薬では効果がないため、熱湯(72℃)を約1分間かけ続け、2〜6か月程度の乾燥をさせてから、石灰を塗布するように心掛けていきましょう。

◎浦幌町の乳牛頭数(搾乳農家)8月

経産牛			育成牛	合計
搾乳牛	乾乳牛	計		
4,781頭	700頭	5,481頭	2,798頭	8,279頭

◎生乳生産量(8月出荷分)

実績乳量	前年実績対比	4月~8月実績乳量	4月~8月前年対比	経産牛1日1頭当乳量
4,354 t	93.2%	22,346 t	92.7%	29.4kg

◎生乳成分と乳代単価(8月)

項目	脂肪率 %	無脂固形分率 %	単価内訳(円)			合計
			生乳単価	補給金単価	集送乳調整金	
平均						
浦幌町	3.81	8.72	106.21	6.57	2.00	114.78
十勝	3.80	8.67	105.73	6.57	2.00	114.30
全道	3.87	8.65	106.26	6.57	2.00	114.83

※乳代について(令和2年4月分より共販経費控除前の金額を使用しております。)

◎衛生的乳質検査結果(8月)

ランク	生菌数			体細胞数	戸数
	1	2	3		
浦幌町	108 (92.3)	7 (5.9)	2 (1.8)	69 (69.0)	39
十勝	2,899 (96.7)	94 (3.1)	4 (0.2)	2,478 (88.1)	999
全道	13,008 (95.2)	620 (4.5)	26 (0.3)	10,387 (83.3)	4,558

上段は3旬計の件数・下段()は%

感謝祭開催のお知らせ

組合員・地域住民の皆様へ日頃より感謝の意を込めました「JAうらほろ感謝祭」を下記日程で開催致します。

当日は農業会館東側を特設会場とし、農産物の販売などを予定しております。

多くの皆様のご来場をお待ちしております。

なお、詳細につきましては、後日FAXや新聞折り込みでお知らせ致します。

開催日時 令和5年10月28日(土) 11:00～15:00(雨天決行)

会場 農業会館東側特設会場

内容 農産物などの販売コーナー
キッチンカーなどのフードコーナー
ドローンサッカー体験会など



令和4年
JAうらほろ
感謝祭



編集後記

農作業も佳境を迎え、収穫を終えた畑が目立つようになってきました。今月号に掲載しておりますが、みのり祭りが開催され、当JAも出店しました。JAブースでは農畜産物等を販売し、大盛況で終わることが出来ました。今回は4年振りに制限のない開催となったため会場は終始活気に満ち溢れており、野菜類に関しては完売しました。購入された方々の笑顔を見るとやっとコロナ前の生活が戻ってきたと実感しました。10月に入り、日が短く暗くなるのが早くなってきておりますので、農作業事故には十分にご注意くださいますようお願い申し上げます。

カレンダー

※行事日程は変更になる場合があります。

日	事項
10/23	第3回監事会及び監事監査～25日
27	第8回理事会
	農業委員会総会
28	JAうらほろ感謝祭
11/7	JA北海道大会実践フォーラム
9	令和5年度北海道地区常勤監事監査研究会～10日